

《担当者名》講師 / 井上 貴翔 ikisho@ 山田 桃子 yamada-m@

【概要】

大学生には研究や調査、学習の成果をまとめ、レポートや論文として提出することが求められる。本講義では、そのための基本的な力 具体的には、論理的な文章を的確に読解する力（読解力）、相手の考えを的確にまとめる力（要約力）、自分の考えを適切に表現し、わかりやすく伝える力（論理的思考力、論述力）などを身につけることを目標とする。前期「コミュニケーション学」の内容を更に発展させたものとなる。

【学修目標】

大学生として必要不可欠になるコミュニケーション能力、特に、言語表現の能力（読解力・要約力・論述力）を身につける。基本的なレポートの作成を正しい手順で行う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス / 講義目的と履修上の注意	講義の進め方、到達目標、評価方法を概説できる	井上 貴翔 山田 桃子
2	文章読解（1）	論理的な文章を読解する基本的な方法について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
3	文章読解（2）	論理的な文章を読解する基本的な方法について、演習課題を通して、より理解を深める	井上 貴翔 山田 桃子
4	要約（1）	論理的な文章の要約方法について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
5	要約（2）	論理的な文章の要約方法について、演習課題を通して、より理解を深めるとともに、要約課題を提出する	井上 貴翔 山田 桃子
6	情報の種類と特徴	情報の種類と特徴について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
7	情報の検索	情報の検索方法について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
8	引用のルール / 出典の示し方	引用のルールおよび出典の示し方について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
9	レポートの作成手順	先行資料や先行研究を踏まえたレポートの基本的な作成手順について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
10	レポートの構成	先行資料や先行研究を踏まえたレポートの基本的な構成について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
11	レポート課題作成	指定されたテーマについて、レポートを作成する	井上 貴翔 山田 桃子
12	レポートにおけるルーブリック評価	レポートにおけるルーブリック評価について、実例を踏まえ、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
13	レポート課題講評	講義内で作成したレポートについての講評を理解する	井上 貴翔 山田 桃子
14	レポートのセルフチェック	レポートのセルフチェックの方法について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
15	総まとめ	講義の総まとめについて、理解する	井上 貴翔 山田 桃子

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末レポートによる学習到達度（70%）、講義で課した課題による学習到達度（30%）

【教科書】

毎回、講義時に配付するプリントを用いる。

【参考書】

必要に応じ、講義内で適宜紹介する。

【学修の準備】

予習として、前回の講義内容で不明な点や質問をまとめ、次回の講義に望む。(120分)

復習として、返却された課題における誤字や、文法的な誤りについて必ず確認する。(120分)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。(専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力)

DP 2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。(総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力)

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。(科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢)

DP 4. 多職種(保健、医療、福祉、介護)と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。(多職種連携能力)

DP 5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。(社会における医療の役割の理解)